

第2弾

コロナに負けない！ 行田版 新型コロナウイルス対策パッケージ

5月27日に閣議決定された国の令和2年度第2次補正予算において、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の拡充分として2兆円が計上されました。

本市では、当該交付金の活用を視野に入れ、第1弾の行田版新型コロナウイルス対策パッケージに含めなかった3事業について早期に実施したいため、行田市議会へ第3回補正予算案の追加提出を行い、6月4日に議決されました。

事業総額：442,873千円

(財源) 財政調整基金取り崩し 400,000千円※

繰越金 42,873千円

※ 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金が交付される場合にはこれを充当予定

【参考】第1弾パッケージ総額 8,706,624千円、うち新型コロナウイルス感染症対応事業(22事業) 475,840千円

II 雇用の維持と事業の継続

◇市内の中小企業者等への支援

★売上が減少した小規模事業者等への家賃支援給付金給付事業 (31,400千円)

- ・国の第2次補正予算に計上されている家賃支援給付金(仮称)の給付対象者のうち、小規模事業者等へ家賃支援給付金の給付を行います。

【対象者】小規模事業者及び個人事業主(国の家賃支援給付金(仮称)の要件を満たす者を対象とする予定)

【給付額】家賃の1/3を6か月分支給(上限・合計で10万円)

◇様々な活動が制約されることとなった人々への支援

★小中学校の給食費の無償化事業 (214,457千円)

- ・市内小中学校の給食費について、今年度に限り、全額無償とします。

【月額給食費】小学生 4,100円、中学生 4,850円 【児童・生徒数】小学生3,584人、中学生1,932人 (R2.5.1現在)

★水道料金(基本料金)の無料化事業 (197,016千円)

- ・水道料金基本料金を4か月間、無料とします。

【基本料金】月額1,430円~17,050円(水道管の口径により異なるが、一般家庭の大半は1,430円)

【期間】6月検針分~9月検針分(4か月分) 【供給戸数】約35,000戸